

7/16・17

届け、この想い!

第23回筑紫野市長杯小学生ソフトボール大会

吉木オリオールズ主将、黒田 響大選手の「試合ができることに感謝し、朝倉市まで届くように全力で声を出し、元気よくプレーすることを誓います」という宣誓から始まった大会。今年は県外から遠征のチームを含め41チームが参加し、諸田多目的グラウンドなど、市内四つの会場で対戦しました。

暑さに負けず、全力でプレーや応援をした選手たち。観戦する保護者などから、温かい声援や拍手が送られていました。



7/14

東レ・アローズ中川選手が
藤田市長を訪問

中川 有美選手表敬訪問

バレーボール選手の中川 有美さんが父・康隆さんと藤田市長を表敬訪問しました。中川選手は、バレーボール・Vリーグの1部リーグであるプレミアリーグ、東レ・アローズに所属して活躍する筑紫野市出身の選手です。

5歳からバレーボールを始めた中川選手は、高校ではインターハイに出場し、3年生のときには全国制覇を成し遂げました。大学卒業後の昨年4月から東レ・アローズに所属しVリーグで活躍しています。

筑紫野市出身の中川選手を応援していきましょう!



藤田市長から激励を受けた中川 有美選手(中央)

7/18

スマイルは万国共通

アジア太平洋子ども会議・イン福岡子ども大使歓迎式典

アジア太平洋の国・地域の子どもたちを「こども大使」として福岡に招へいし、国際交流、異文化理解の機会を提供しています。今年度はミクロネシア連邦のコスラエ島から4人のこども大使と引率者1人が筑紫野市を訪れました。

こども大使たちとホストファミリーとの対面時は、お互い少し照れくさそうでしたが、9日間を共に過ごし、阿志岐小学校への2日間の登校体験などを行いながら、言葉の壁を乗り越え交流を深めました。



地域の人や通訳を担った筑紫高等学校の生徒さんたちと一緒に

7/15

犯罪や非行をした人たちの
立ち直りを支えよう

第67回社会を明るくする運動筑紫野市推進大会

犯罪・非行防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めることを目的とした「社会を明るくする運動」筑紫野市推進大会が開催され、主催する筑紫保護区保護司会筑紫野支部の皆さんや、多くの人々が参加しました。

今回は、工藤 良さん(田川ふれ愛義塾 TFG 理事長)による講演があり、非行や不登校の子どもたちの立ち直りについてなど、参加者は熱心に聞いていました。

また、運営にあたっては市立五中学校の生徒会・放送部の皆さんによる、司会と平成29年7月九州北部豪雨被災地への募金活動の協力がありました。



ちくしのクリップ

7/20

共通の意識をもって、私たちから変えていく

市内の中学校生徒会の情報交換などの場をつくり、生徒会活動を活性化しようと二日市中学校生徒会の呼びかけにより、この日、筑紫野市内五中連合体(連合体)発足会が二日市中学校で行われました。

市内の五中学校(二日市、筑山、筑紫野、天拝、筑紫野南)の生徒会の皆さんが参加した会では、お互いに意見交流が行われ、活動計画などについて活発に意見が出されていました。



提案を行う二日市中学校生徒会長の山本さん



意見を交換し合う五中学校の生徒会の皆さん

筑紫野市内五中連合体発足会

活動について提案を行った二日市中学校生徒会長の山本 桃子さんは「五中学校が集まれば大きな力になります。私たちから、日ごろ思っていることを発信して、多くの人が幸せに暮らしていける社会へのチカラになれば」と話していました。

連合体は、まずは不要になった子ども服を難民などの支援のために再利用する取り組みを行う予定です。

連合体のこれからの活躍に期待します。

7/21

市民のために長年にわたり寄贈

筑紫地区建設コンサルタンツ協会から車いすの寄贈

筑紫地区の測量・調査・設計を行う事業所で作る「筑紫地区建設コンサルタンツ協会」の皆さんが筑紫野市役所を訪れ、車いすの寄贈を行いました。

同協会の皆さんからは、長年にわたり車いすやベビーベッド、ベビーラックなどを毎年寄贈いただいております。藤田市長からお礼を伝えました。これまでに寄贈のあった車いすは、市役所、カミーリヤに配置しており、今回の車いすは生活福祉課障害者福祉担当に設置します。ありがとうございます。



7/20

助け合って、生きていく

筑紫野中学校 九州北部豪雨災害支援義援金

平成29年7月九州北部豪雨被災地の支援のため、筑紫野中学校の生徒会が校内で募金活動を行いました。

5日間にかけて毎朝募金活動を行い、帰りの会の全校放送でその日集まった募金額を報告。そしてまた翌日以降に向けて呼びかけを行うなどして、集まった募金総額は102,382円。

この日、生徒会長の今村 鈴さん、副会長の松下 愛鈴さん、会計の大津 勇貴さんが訪れ、募金を預かりました。

日本赤十字社を通し、義援金として被災地支援に役立っています。

